Welcome to my house!

お客様のお宅拝見！

タンポポと 青空と 子どもたちの笑い声と

浜松市東区 K様邸

浜松市の郊外、タンポポが咲き乱れる草原に、
白を基調としたスタイリッシュな外観が映えるK様邸をご紹介します

収納スペースをしっかり確保した広々とした脱衣所。

壁一面の収納棚。家族の思い出が納まっていきます。

琉球畳を採用したスタイリッシュな和スペース。

「最初に描いた漠然としたイメージが図面になり、CGになり、だんだん現実味を帯びてくる、そしてそれが本物の家になっていく･･･それは感動的ですらありました。」
これまでを振り返り、楽しそうにこう話してくれたK様。

「1階は、ワンルーム発想で、広い空間を確保したかったんです。子供が小さい時は思い切り走り回っても大丈夫なようにしておきたくて･･･。」とご主人。
ただし、単に広いだけではありません、琉球畳がスタイリッシュな和スペースや、食器棚とキッチンキャビネットの色調を敢えて変えてアクセントとしたダイニングキッチンなど、広い空間が単調にならないスパイスが各所に散りばめられ、絶妙なバランスをもったLDKに仕上がっています。

階段への動線は、必ずリビングを通るようになっています。
「子供が大きくなってからも、一度は家族の顔を見てから2階に上がるようにしたんです。」「収納をたくさん作ったのも正解でした。将来はここに家族の思い出の品がいっぱい納まっていくんです。」と、K様の家つくりのテーマは、家族のコミュニケーション。家族が心地よく、いくつになっても、そしてどこに居ても、戻って来たくなる場所、そんな空間を目指したんだなということが伝わってきます。

今回の住まいつくりの思い出をお聞きすると、「とにかく決める事が多くて大変でした。私も妻も決断は早い方なんですが、また次の打ち合わせの時には、あれしたい、これしたいと変更したくなっちゃって･･･」と、申し訳なさそうにご主人。「でもその甲斐あって、何一つ不満はありません。思い通りです。」といって頂きました。私どもにとって、最高の褒め言葉です。

新築されて変化した事を伺うと「まず、子供たちが自分の家で喜んでくれています。」「また、友達も気兼ねなく呼べるようになりました。今度、友達家族を呼んで、庭でバーベキューするんです。夏には、庭にプールを出して、みんなで水遊できるようにしようと思っています。」
鮮やかなタンポポの黄と柔らかな綿毛の中に凛として佇む邸宅は、お子様をあたたかく、そして時に厳しく見守る、K様ご夫妻を象徴しているかの様です。
「じゃあネ、またきてね～」と、あきとクン、なおきクンに見送られ、さわやかな気分で後にしたK様邸でした。